

新潟市委託事業 「DXサポート事業 実施報告」

令和5年3月
株式会社ITスクエア

目次

はじめに

実施内容一覧

スケジュール、実施体制

D X 人材育成の全体像

D X 推進セミナーの実施

D X 推進人材育成研修プログラムの実施

経営者層向け人材育成研修プログラム

実務担当者向け人材育成研修プログラム

各プログラム内容

経営者層向け人材育成研修プログラム アンケート

実務担当者向け人材育成研修プログラム アンケート

D X 推進エキスパート派遣の実施

D X 取り組み事例の収集・コンテンツ・動画制作

まとめ

はじめに

本事業の目的

昨今、ICT（情報通信技術）の急速な進歩に伴い、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立するDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の機運が高まっています。

新潟県が令和2年度に実施した「県内産業デジタル化構想策定事業」の調査報告によれば、新潟県は全国比で見ても人口・労働力人口の減少が進んでいる中で生産性も低く、DXの必要性が高いと思われる一方、IT投資が進んでおらずDXへの取り組みが遅れています。

その理由としては、デジタル人材の確保不足やデジタル技術導入ノウハウ不足が挙げられています。

こうした背景に基づき、『DXセミナー、人材育成プログラム実施』、『DX事例発信（事例収集・コンテンツ制作）』、『専門家派遣』の3本柱により、デジタル化への対応や、DXによるビジネスモデルの変革、新事業創出に向けた取り組みをはじめ、DX推進に向けた課題の解決を支援し、新潟市内中小企業のアフターコロナを見据えた長期的な競争力向上を図ることを目的として本業務を実施しました。

実施内容一覧

● DX人材育成研修

- ・DX推進セミナー（DX推進のための啓発セミナー）
- ・経営者層向けDX人材育成プログラム
- ・実務担当者向けDX人材育成プログラム
- ・社内のDXマインドの機運醸成及び受講者に対する支援

● DX推進エキスパート派遣

派遣先企業数 29社

総派遣回数 64回（※1社平均2.2回）

● DX推進事例収集・コンテンツ・動画制作

新潟市内5社へ対してDX取り組み事例の取材、コンテンツ制作

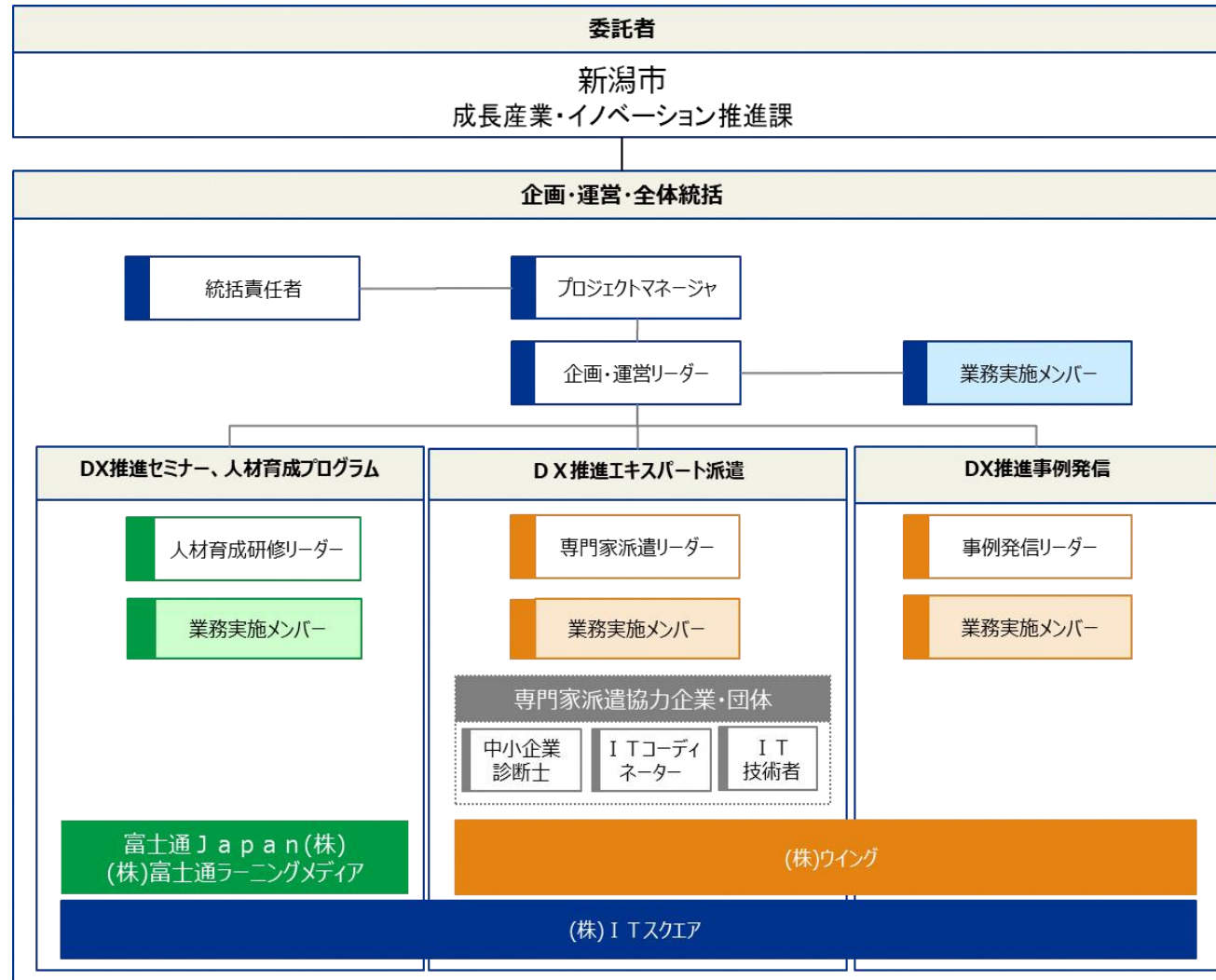
スケジュール、実施体制

(1) 実施スケジュール

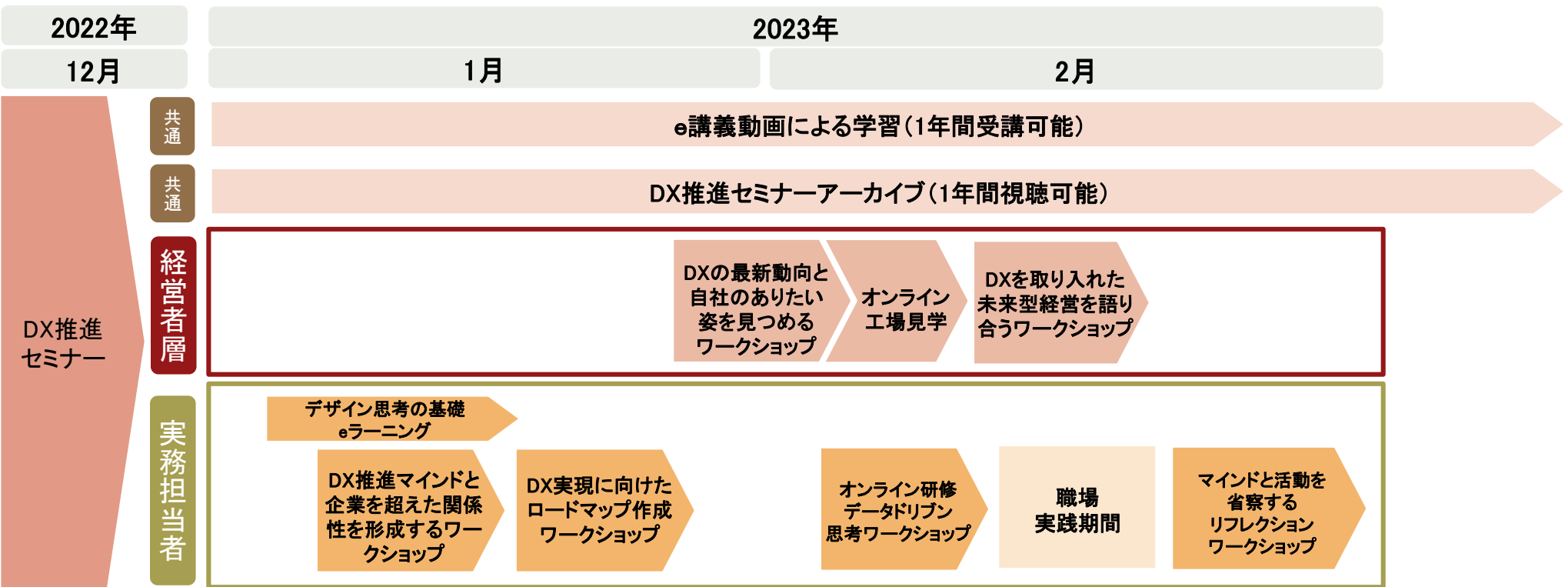
項目	令和4年		令和5年			備考
	11月	12月	1月	2月	3月	
DXサポート事業周知・参加企業募集	■					
DX推進セミナー		◆				1回目：12/2 2回目：12/9
経営者層向けDX人材育成プログラム				◆		2/2【Day1】ワークショップ 2/3【Day2】オンライン工場見学 2/15【Day3】ワークショップ
実務担当者向けDX人材育成プログラム			■	◆		1/11～24【事前学習】eラーニング 1/26【Day1】ワークショップ 1/27【Day2】ワークショップ 2/1【Day3】オンラインワークショップ 2/24【Day4】ワークショップ
DXエキスパート派遣		■				
DX推進事例収集・コンテンツ制作	■					
DXサポート事業報告					■	

スケジュール、実施体制

(2) 実施体制



DX人材育成の全体像



D X 推進セミナーの実施

● 講演

「D Xのとらえ方・D X 推進のポイント」

講師：富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 松本 国一氏

- ・ I TとD Xの概念の違い・国内外のD X事例の解説
- ・ D Xの推進時に意識しておくべき要点の解説



● ワークショップ

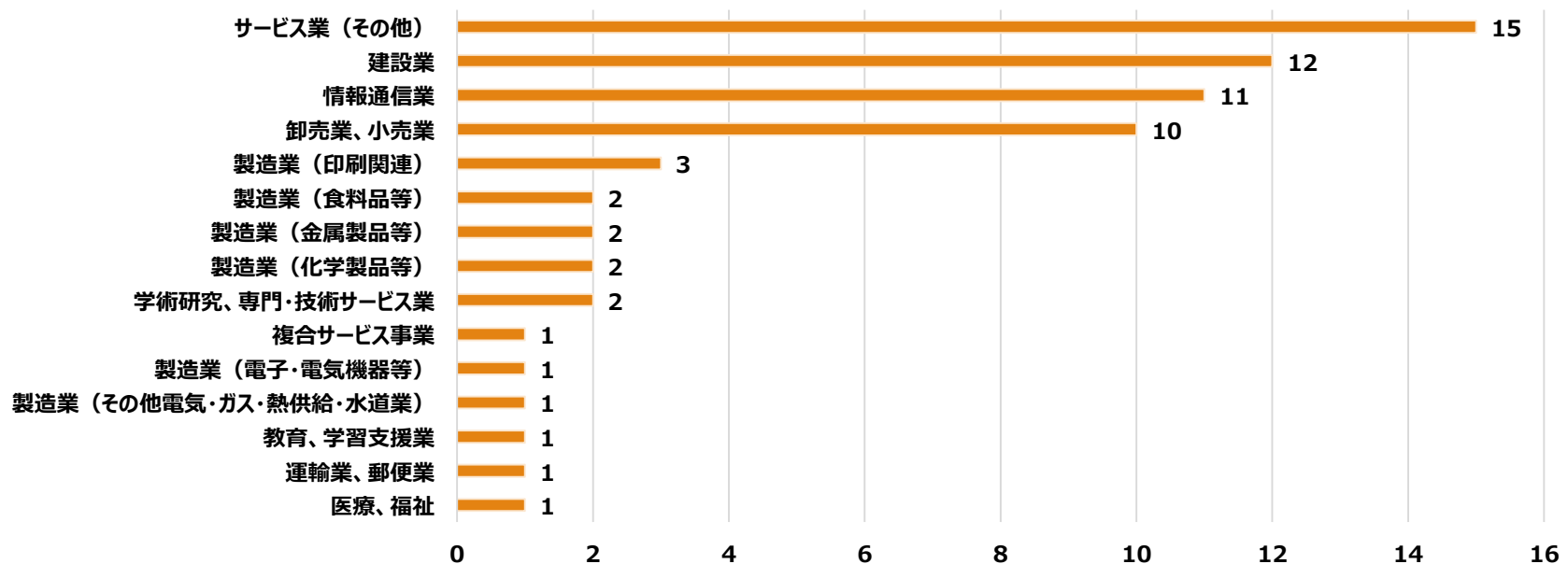
グループに分かれ、講演の中から印象的だった内容とその理由を整理する活動

	日時	出席者数
第1回	令和4年12月2日（金） 14:00～16:00	現地：15人
		オンライン：29人
第2回	令和4年12月9日（金） 14:00～16:00	現地：12人
		オンライン：34人
合計		90人



DX推進セミナーの実施

セミナー参加企業業種（65名回答）



●DXセミナー感想（抜粋）

- ・DX化やIT化という本来の意味がよくわかりました。他企業様との交流も貴重な意見が聞けたのも良かったです。
- ・もう少し実践的な内容が聴きたかった
- ・DXに関する知識が深まりました。社内でも展開したいと思います。
- ・DX推進担当者としてどのように考えていけばよいかの参考になった
- ・とりあえずやってみるといった気軽に取りかかれそうな考えになれたのが良かったと思いました。
- ・ITとDXの違いややりたい事を考えるなど、今後システム提案を進めていく上で参考になった
- ・DXとITは違うということがわかったが、本質的な違いについてはまだ腑に落ち切らないです。
- ・DXはデジタルありきで考えていたので、誰にどんな価値を提供したいかを考えるきっかけになった。

経営者層向け人材育成研修プログラム

1日目

ワークショップ①

・DXとITの観点を区別する発想を身に付け、DXの本質を理解することを目的に講演及びワークショップを実施

・異業種の経営者間で親交を深め企業間のネットワークを構築

2H

2日目

オンライン工場見学

・富士通フロンテック(株)新潟工場と研修会場をオンラインで繋ぎ、技術の活用事例や工場におけるDXの推進事例を学ぶ

・業種に偏らないようRPA（定型作業の自動化ツール）や、人材スキルの可視化などの説明

2H

3日目

ワークショップ②

・DXの目的を事業の競争優位性獲得として認識し、事業の先に存在する顧客を意識した自社のDXの進め方を考察

・他の参加者は疑似的な顧客となり、アイデアに対する独自の見解や意見をフィードバック

6H



実務担当者向け人材育成研修プログラム

1日目

ワークショップ①

- ・DXの概念を多様な視点から見つめ論じ合い、新たな視点の共有
- ・新潟発信のビジネスアイデア創出の活動を通し、自社が取り組めそうなDXについて考え方や発想の醸成

6H

2日目

ワークショップ②

- ・過去のパラダイムシフトの事例を手掛かりに、制約する既成概念を取り払うマインドを醸成
- ・現状の問題を洗い出す手法を理解し、問題解決に導くための活動ロードマップを作成

6H

3日目

ワークショップ③ (オンライン)

- ・データ分析をビジネスにつなげる上でのデータドリブンの思考法の理解
- ・既存業務を改善するうえで、AI/データ分析の適用領域の理解

6H

職場内
実践期間

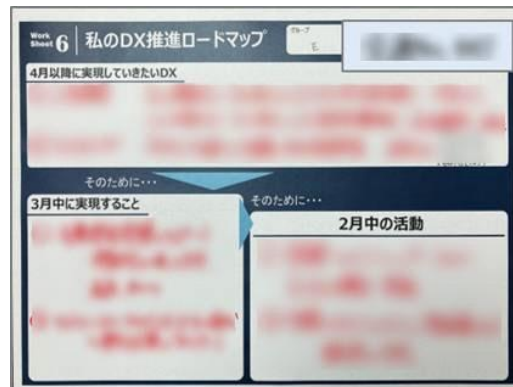
4日目

ワークショップ④

- ・研修参加前と現在を比較し、自らが習得したスキルを明確化
- ・自社におけるDX推進の障壁と今後の推進課題を明確化
- ・他者の視点を交え、課題へのアプローチ方法を情報交換

4H

※ワークショップ①の受講前に事前学習として『デザイン思考の基礎(eラーニング)』を受講頂きました



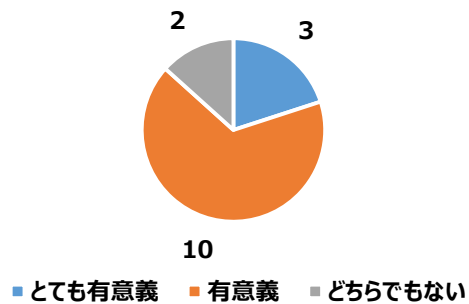
各プログラム内容

実施日	講座名
経営者層向けプログラム	
1日目 (2/2)	D X の最新動向と自社のありたい姿を見つめるワークショップ
2日目 (2/3)	【集合研修】オンライン工場見学
3日目 (2/15)	D X を取り入れた未来型経営を語り合うワークショップ
実務担当者向けプログラム	
事前学習 (1/11～24)	【eラーニング】デザイン思考の基礎 ～ビジネス価値を見出すために～
1日目 (1/26)	D X 推進マインドと企業を超えた関係性を形成するワークショップ
2日目 (1/27)	既成概念に囚われない D X 実現に向けたロードマップ作成ワークショップ
3日目 (2/1)	【オンライン研修】データドリブン思考ワークショップ
4日目 (2/24)	わたしたちのマインドと活動を省察するリフレクションワークショップ

経営者層向け人材育成研修プログラム アンケート

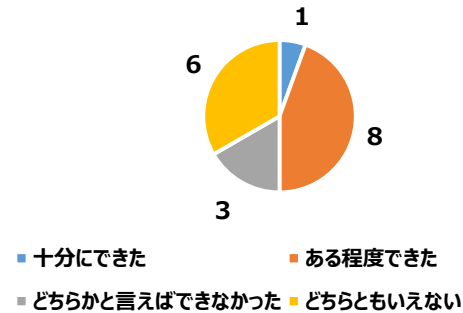
1日目 アンケート(抜粋)

講演・ワークショップはあなたにとって
有意義でしたか



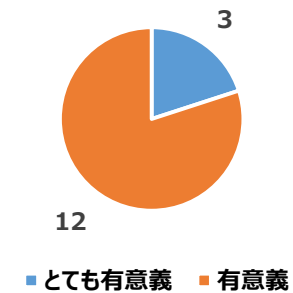
2日目 アンケート(抜粋)

講演・工場見学を通じて、これまでよりも
DXの具体的なイメージができましたか

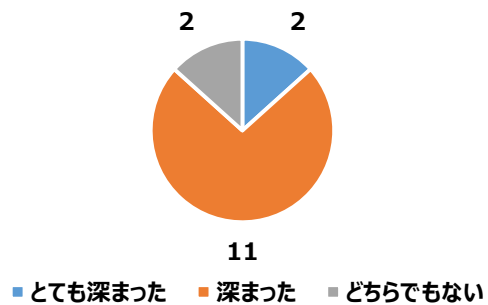


3日目 アンケート(抜粋)

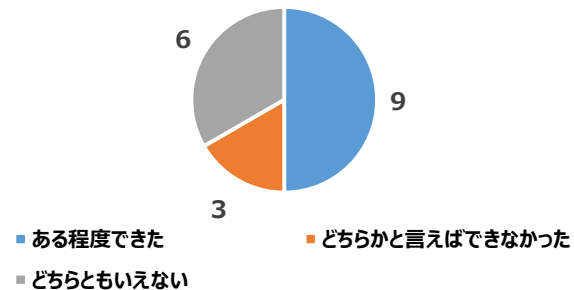
本日のワークショップはあなたにとって
有意義でしたか



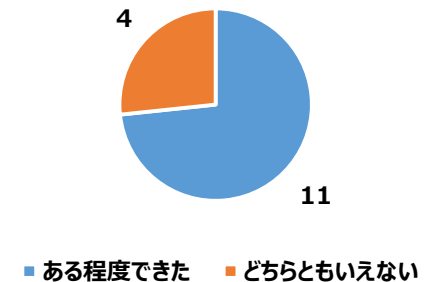
講演・ワークショップを通じて他者との関
係性が深まりましたか



講演・工場見学を通じて、自社で実践し
ていくためのプロセスやDX推進のヒントを
得ることはできましたか



自社で具体的にやってみたいDX推進の
取組みや活動がイメージできましたか



経営者層向け人材育成研修プログラム アンケート

受講者アンケート コメント(抜粋)

<1日目プログラム>

- ・ ワークショップの中で小さいが新しいアイデアが生まれた
- ・ DXとは何なのか、どのような思考、アプローチをするべきかが理解できました
- ・ 後半のワークも、誰のために、ありがたい姿を考える、とてもたいせつなことを改めて認識できました
- ・ 同じ課題に熱意と意欲を持った経営層の方と接することができたため
- ・ 異業種のDXの具体例を聞いて勉強になった

<2日目プログラム>

- ・ 直接的ではないが、いくつかヒントがあった
- ・ 普段みることの出来ない部分を知る事ができた
- ・ 工場見学は楽しく拝見したがメーカーとサービス業の置き換えができず消化不良だった
- ・ 大手の企業のシステム構築が素晴らしいと思いました。しかし、業種がかなり違う為、自社に置き換えた場合参考になる部分が少ないようにも感じました
- ・ 企業規模の違いがあって、自社への落とし込みが難しかった

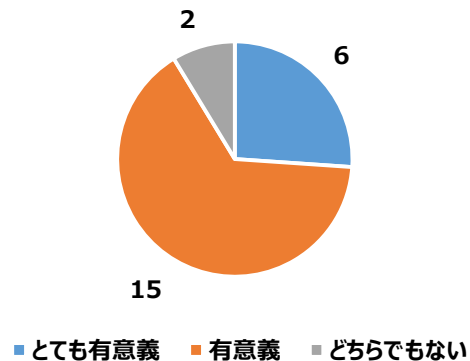
<3日目プログラム>

- ・ 他社の経営者視点でのご意見、アドバイスが参考になったため
- ・ 様々なヒントがもらえた。今回のセミナーの運営方法自体も今後の社員との間の関係性において参考になった
- ・ 新たな学びと気づきがありました
- ・ DXについての知識が深まった。そして、社内に導入する為の具体的な手法を学ぶことができた
- ・ ワークショップの内容が面白かった

実務担当者向け人材育成研修プログラム アンケート

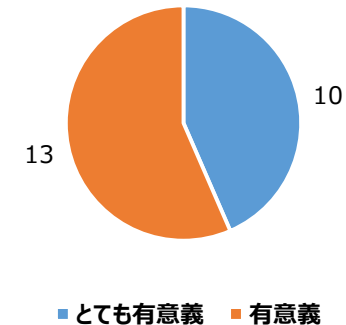
1日目 アンケート(抜粋)

ワークショップはあなたにとって有意義でしたか。

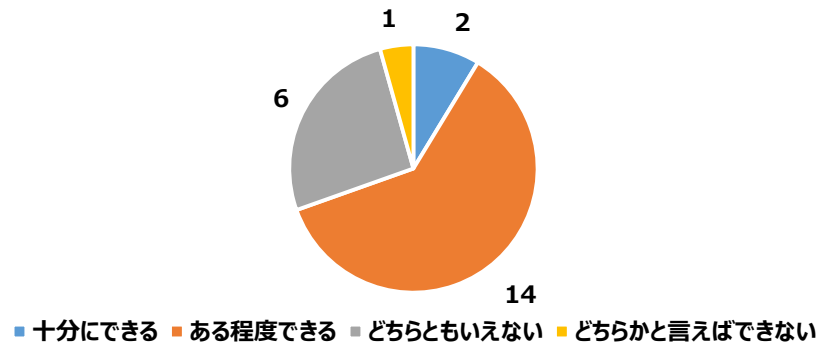


2日目 アンケート(抜粋)

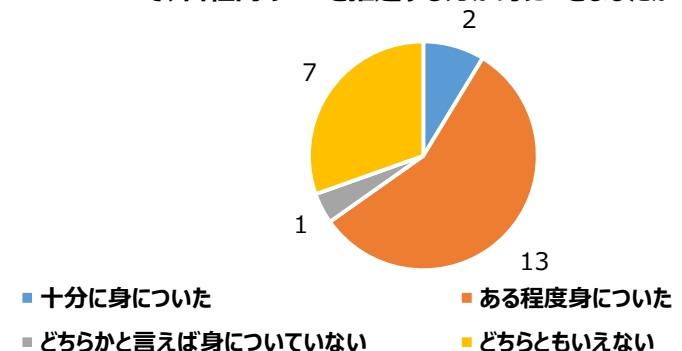
ワークショップはあなたにとって有意義でしたか



DXの概要について、自社の同僚にどの程度自らの言葉で概要説明できますか。



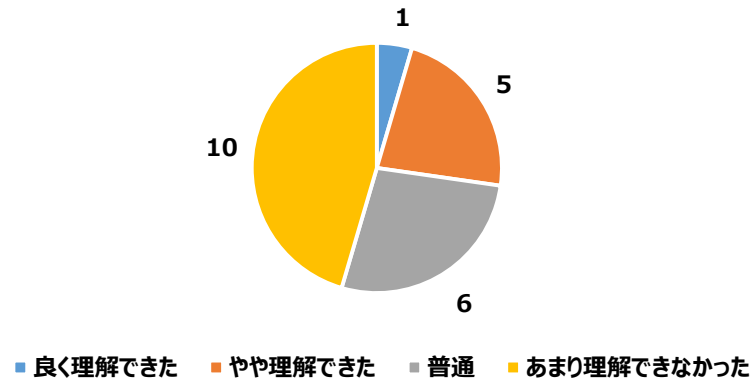
研修受講前と受講後と比較してお答えください
課題設定から活動ロードマップ作成までの一連の活動を通して、自社内のDXを推進する力が身につきましたか



実務担当者向け人材育成研修プログラム アンケート

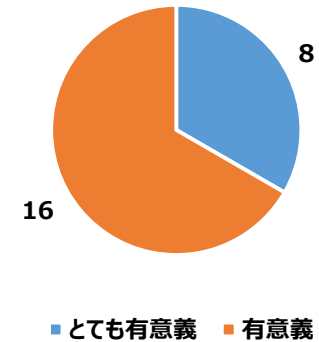
3日目 アンケート(抜粋)

講座の全体に対する理解度についてお答えください

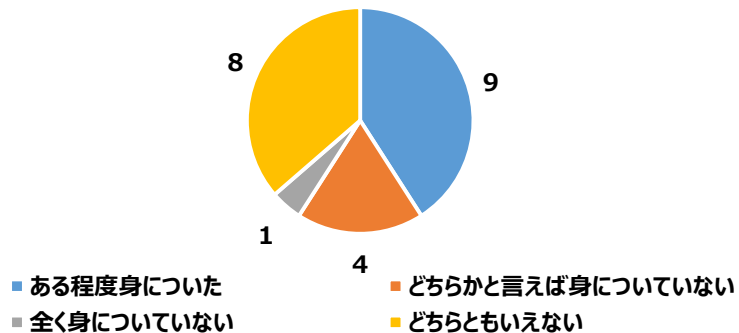


4日目 アンケート(抜粋)

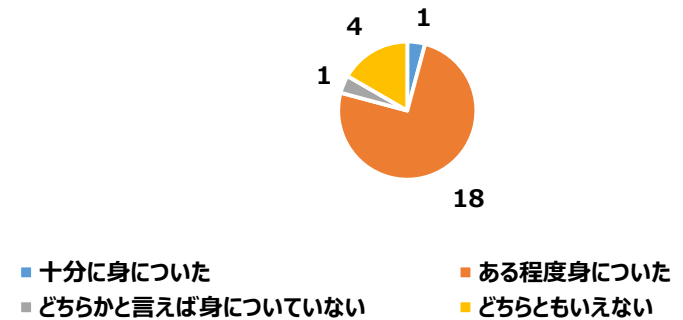
ワークショップはあなたにとって有意義でしたか。



研修受講前と受講後と比較してお答えください
自社のDXを推進するためにデータドリブンで業務を見直す上での思考フレームは身につきましたか



研修受講前と受講後と比較してお答えください
あなたは自社のDXを推進するための基礎的な知識やスキルを身につけることができましたか



実務担当者向け人材育成研修プログラム アンケート

受講者アンケート コメント(抜粋)

< 1日目プログラム >

- ・ 異業種の方と意見交換が出来た。
- ・ 居酒屋のワークショップを行なっている時、ユーザー視点に立つという感覚を感じた
- ・ 他業種の抱える問題点や解決策が聞けたから。
- ・ 自社が提供する製品サービスの価値を、他者視点通じて改めて認識できた。
- ・ DXについてカイゼンDXと本質的なDXでアプローチ方法が異なる事を知ることができたため

< 2日目プログラム >

- ・ 具体的なDX推進について考えるきっかけと機会を得られた。
- ・ 施策までロジカルな考え方が実践を通じて理解できた。社内にも展開したい。
- ・ やってみたい取り組みが見えてきた
- ・ 手を動かして実際にやってみることでわかりやすかったです
- ・ 固定概念に囚われ、問題や課題の本質に辿りつけていなかったかもという気づきを得られた。
- ・ ワークショップを通じて、自分の視野が狭まっていた事を改めて認識しました。

< 4日目プログラム >

- ・ 学んだ内容をアウトプットすることで、復習することができた。
- ・ 自社では出ない意見や考え方を学ぶことが出来たから
- ・ 自分の伝えたい事の要点をまとめる訓練になった
- ・ 自身の行動を振り返るきっかけになった
- ・ 様々な異業種の方と意見交換が出来た事で知見が広がったように感じました

D X 推進エキスパート派遣の実施

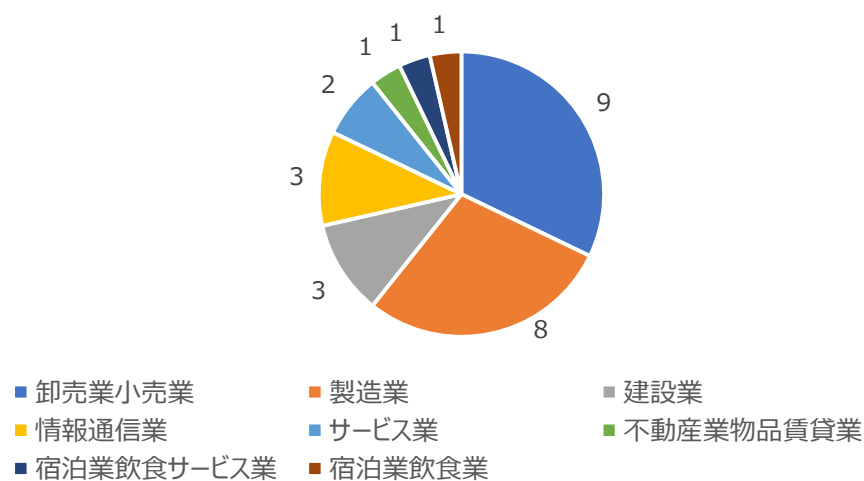
- ・ 1 企業あたり最大3 回まで派遣料無料として実施

派遣先企業数	29社
総派遣回数	64回
派遣エキスパート数	17人
1 社平均派遣回数	2.2回

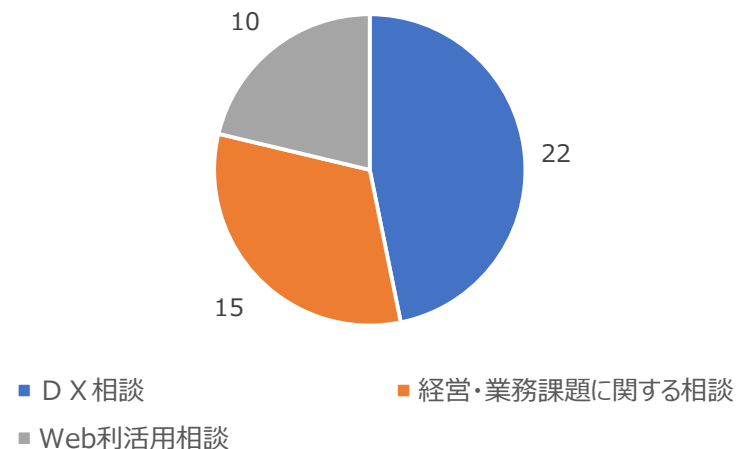
派遣エキスパート分類

中小企業診断士	1名
ITコーディネータ	5名
D X 支援ベンダー	1 1 社

派遣先企業の業種



相談分類

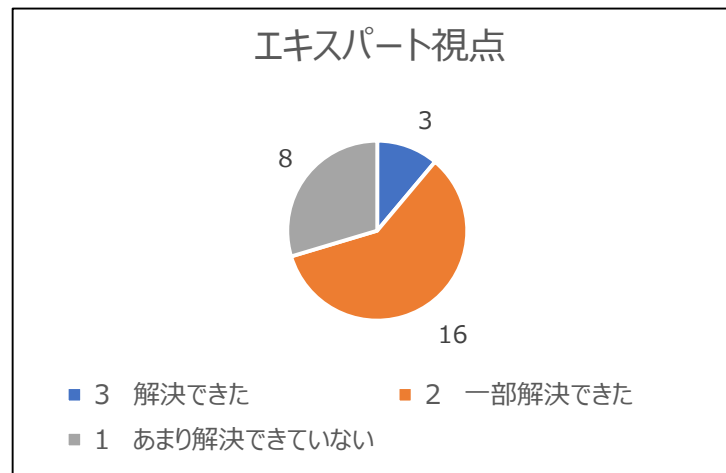
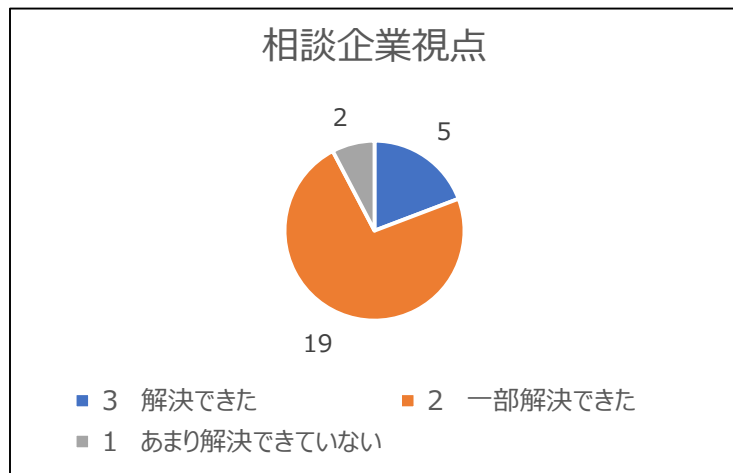


相談内容（抜粋）

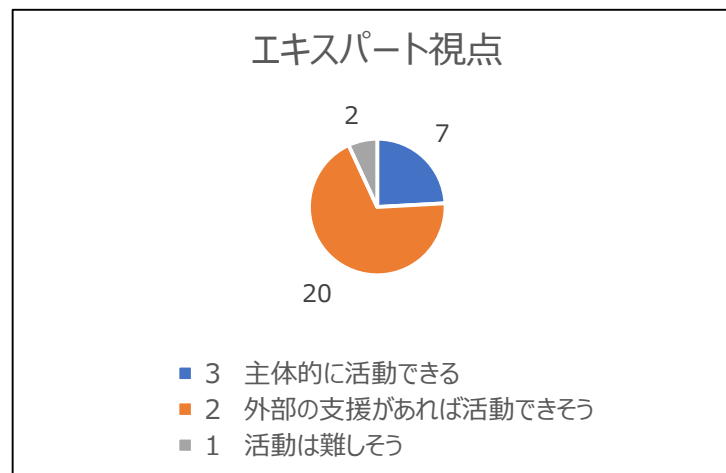
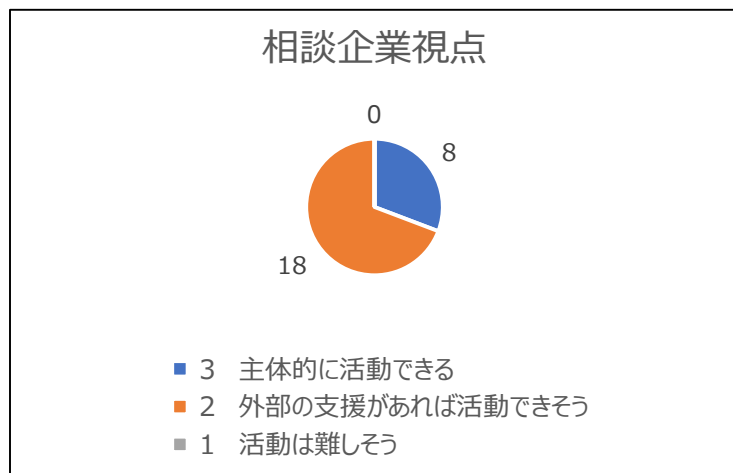
- ・インボイス制度、電帳法への対応
- ・生産管理、在庫管理システム
- ・ECサイト構築
- ・業務のデジタル化推進
- ・基幹システム(生産、販売、購買、会計)
- ・SNSの活用
- ・WEBプロモーション
- ・クラウド活用
- ・音声入力の活用

D X 推進エキスパート派遣の実施

● 相談内容の解決度



● 相談企業の今後の主体的活動について



D X 取り組み事例の収集・コンテンツ・動画制作

企業名	テーマ、タイトル
株式会社ツバメックス (製造業／西蒲区)	社内の情報一気通貫を実現。設計情報を探す時間を1/4に削減
株式会社鈴木コーヒー (食品小売卸業／中央区)	非生産性非効率化の業務をデジタル化。大幅な残業削減
有限会社山崎銅鉄店 (スクラップ加工・産業廃棄物処理／江南区)	運転手が社外に居ながら次の顧客訪問先を確認、主体的にスケジュール調整
株式会社トップライズ (建設土木コンサルタント／秋葉区)	測量や空撮業務にドローンとAIを活用、人員削減とデータ分析を容易に
株式会社NSGアカデミー (教育事業／中央区)	個別指導のオンライン化を実現。A I で子供の感情を読み取り成績アップ

本事業の意義

セミナー、プログラムを通して、“DX推進は、他企業や異業種を巻き込んで行うことが重要”であるとの話もあったが、各アンケート結果からも異業種の方との交流や意見が聞けてよかったという意見が多数ありました。

DXに対する取り組みを促進するには、DX推進の機運醸成及び、DX人材の育成、DX推進事例の共有等が必要不可欠であり、かつ同時に、異業種間の企業連携を深める仕組みもあわせてつくることが重要であると考えます。

以上から、DX推進セミナー、DX人材育成プログラム、エキスパート派遣、事例紹介などを一体的に実施した本事業は、非常に有意義なものであり、今後も継続して実施していく意義があると考えられます。